「共存の森」活動との連携

宮浦　富保・吉田　麻美子・横田　岳人

「共存の森」というのは、森の“聞き書き甲子園”という高校生の活動を経験した人たちを中心とするグループです。森に入り、森を感じ、森を知り、森で遊び、森について考え、そして人と人、人と自然のコミュニケーションをはかることが「共存の森」の目的です[1)]

森の“聞き書き甲子園”は、日本全国から選ばれた高校生が、森林に関わるさまざまな分野の「森の名人・名手」を訪ねて、知恵や技術、ものの考え方や生きざまを「聞き書き」し、その成果を世の中に伝えていく活動です[2,3)]。林野庁、文部科学省、社団法人国土緑化推進機構、NPO法人樹木・環境ネットワーク協会が運営しています。

「共存の森」の活動は、東北、関東、関西地域でそれぞれ行われています。関西地域の「共存の森」には、龍谷大学（3名）、京都府立大学（2名）、関西大学（1名）、立命館大学（1名）、関西学院大学（1名）、大阪府立園芸高等学校（1名）、奈良県立橿原高等学校（1名）の学生・生徒と三重森林管理所（1名）の職員が参加しています。

「共存の森」関西では、活動の本拠地として龍谷の森を選びました。表－1に「共存の森」関西の2005年度の活動記録を示します。ほぼ毎月、定期的に森林内を散策し、観察ポイントを決めて植物等の定点観察を行っています。また、龍谷の森の周辺の集落を訪ね、この地域の歴史や生活のことを聞き書きしています。

「共存の森」の活動では、龍谷の森を拠点とする里山研究を中心とし、さらに周辺住民とのネットワーク構築も展開しています。里山ORCスタッフは、自然観察や定期的活動、周辺住民への聞き書きなどをサポートしています。里山ORCの活動と、緊密で有機的な連携をとることにより、大きな成果が見込まれます。今後、「共存の森」の活動をさらに積極的にサポートすることが必要でしょう。（カラーページp.25参照）

引用文献等

1）http://foxfire-japan.com/obog/kyozon.html
2）http://www.1101.com/kikigaki/
3）樹木・環境ネットワーク協会「人の森プロジェクト」、「森の人、人の森。森の聞き書き甲子園が高校生にもたらしたもの」、株式会社ウェッジ、213p., 2004年3月

表－1.「共存の森」関西　2005年度　活動履歴

年	月	日	活動内容
2005	3	5,6	龍谷の森散策会
2005	4	10	第1回定期寄り合い（龍谷の森散策）
2005	5	7,8	第2回定期寄り合い（龍谷の森散策、定点観察）
2005	6	12	第3回定期寄り合い（龍谷の森散策、定点観察 田上地域の歴史勉強会）
2005	8	20,21	第4回定期寄り合い（龍谷の森散策、定点観察 前田藤美さんへの「聞き書き」①）
2005	9	11	第5回定期寄り合い（龍谷の森散策、定点観察 前田藤美さんへの「聞き書き」②）
2005	10	8-10	ミニセミナー（滋賀・朽木、京都・芦生研究林にて）
2005	11	19,20	第6回定期寄り合い（龍谷の森散策、定点観察 「聞き書き」まとめ作業）
2005	12	17	朝日・大学パートナーズシンポジウム　パネル展示参加
2005	12	18	第7回定期寄り合い（龍谷の森散策、定点観察）
2006	1	22	第8回定期寄り合い（龍谷の森散策、定点観察）
2006	2	19	第9回定期寄り合い（龍谷の森散策、定点観察）
2006	3	12	第10回定期寄り合い（龍谷の森散策、定点観察）